

第 24 回仙台市新型コロナウイルス感染症対策会議 議事概要

日 時：令和 4 年 8 月 8 日(月)15 時 00 分～15 時 31 分

場 所：仙台市役所本庁舎 3 階 秘書課第一応接室

出席者：郡市長（議長）、藤本副市長、高橋副市長、危機管理局長兼危機管理監、総務局長、まちづくり政策局長、財政局長、市民局長、健康福祉局長、子供未来局長、環境局長、経済局長、文化観光局長、都市整備局長、建設局長、青葉区長、宮城野区長、若林区長、太白区長、泉区長、会計管理者、消防局長、教育長、議会事務局長、水道事業管理者、交通事業管理者、ガス局伊藤次長、病院事業管理者
宮城県復興・危機管理部 千葉理事兼危機管理監兼副部長

- 次 第：1. 開 会
2. 議 事
 (1)本市の感染状況について
 (2)宮城県の対応について
 (3)本市の取り組みについて
3. 閉 会

議事要旨：

- (1) 本市の感染状況について
- ・本市における新規感染者数は、7 月 29 日に過去最多となる 2,460 人を数えるなど、急激に感染が拡大している。これにより、本市の医療機関や保健所の業務はひっ迫し、また、救急搬送についても、大変厳しい状況になっている。
 - ・こうした中、先週 8 月 5 日、県から「みやぎ B A. 5 対策強化宣言」が発令されたところ。本日は、現下の感染状況や、県の宣言の内容、これを踏まえた本市における対応などを議題とする。
 - ・資料 1 について健康福祉局長より説明
- (2) 宮城県の対応について
- ・資料 2、2-1、2-2、2-3 について、危機管理局長より説明
 - ・資料 2-3 について、健康福祉局長より補足説明
- (3) 本市の取り組みについて
- ・資料 3、4 について危機管理局長より説明

○関係局長より報告

<文化観光局長>

- ・七夕花火祭は、8 月 5 日の金曜日、3 年ぶりに有観客により開催され、45 万人の人出があった。
- ・七夕まつりには昨日までの 2 日間で 167 万人と、コロナ前と同程度の来訪があった。
- ・新型コロナウイルス感染症対策としては、両まつりともに、専門家の監修を受け、飲食物の提供中止や混雑回避のための取り組みなど、徹底した感染症対策を講じた。来訪者もマスクを着用するなど、基本的な感染症対策を行い、まつりを楽しんでいただいた。

<消防局長>

- ・昨日までの救急件数は、コロナ感染症の急拡大による陽性患者等の救急搬送の増加に加え、高齢者を中心に熱中症等で体調不良を訴える方からの救急要請の急増が重なったことにより、今年の同時期と比較して全体で約 13%の増加となっており、また、過去最多を記録し

た令和元年の状況と比較しても、約7%の増加となっている。

- ・特に、7月中旬以降の救急要請増加が顕著になっており、1日の救急件数が200件を超える日が連続して続くなど、かつてない厳しい状況になっている。
- ・救急件数の増加に比例して、いわゆる「救急搬送困難事案」も増加しており、先週一週間の困難事案が過去最多の147件となり、第6波で記録した112件を大幅に更新している状況である。
- ・消防局では常時28隊の救急隊を運用しているが、救急車の稼働率が非常に高い状況が続いていることから、非常用として保有している救急車を活用して、最大で9隊の臨時救急隊を追加編成し対応している状況である。
- ・市民の皆様には、「仙台市救急車要請マニュアル」や「仙台市救急受診ガイド」、さらには「おとな救急電話相談」等を活用していただきながら、必要な時には躊躇なく119番通報していただくようお願いしたい。
- ・救急隊員の負担も増しており、大変厳しい状況が続いているが、各医療機関の診療状況等の把握に努めながら、救急搬送体制の維持に努めていく。

<教育局長>

- ・「みやぎB.A. 5対策強化宣言」の実施に伴い、本市においても、市立学校あて、部活動を含め、基本的な感染防止対策を引き続き徹底するよう周知を図る予定である。
- ・現在、夏季休業期間中ではあるが、現場においては感染状況を注視するとともに、学校再開後の教育活動が円滑に行えるよう、休業明け前には、学校における対応等について、改めて周知を行う予定である。

○市長より指示

- ・以上のように、本市として対応を進めていく。
- ・今般の「みやぎB.A. 5対策強化宣言」における県からの要請については、その内容を市民や事業者の皆様にしかりと周知するよう努めること。
- ・県市共同での運営となる「検査キット配送・陽性者登録センター」については、ひっ迫する発熱外来の負担が軽減されるよう、県や医療機関とも連携を密にして取組を進めること。
- ・ワクチン接種については、集団接種体制の更なる拡充を進めるとともに、3回目・4回目の接種について、市民の皆様は早期に受けていただけるよう周知に努めること。
- ・全庁応援体制については、先週、一部業務の縮小・停止を指示したところだが、保健所機能の維持に向けて、感染状況等に応じた機動的な応援が可能となるよう、各局区には応援職員の確保をお願いする。

○宮城県復興・危機管理部 千葉危機管理監より

- ・先週金曜日に、「みやぎB.A. 5対策強化宣言」を郡仙台市長様と知事の共同記者会見の中で行わせていただいた。
- ・今回の宣言については、第一番目として、深刻な医療の現状を御理解いただくこと、二つ目としてできる限り社会経済活動を維持しながら感染抑制に取り組んでいくこと、三つ目として、そのためには基本的な感染対策を徹底していただきたいという趣旨から宣言するものである。
- ・夏休み、お盆の期間中であるが、帰省や旅行など県外、県内の旅行はもちろんのこと、日常生活での感染対策に御協力いただきたい。
- ・本日、早速仙台市の取組を報告いただき感謝申し上げます。今後とも仙台市をはじめ、県内各市町村と連携して感染対策に取り組んでいくので、よろしくお願ひしたい。

○市長より総括

- ・現在、仙台医療圏の病床使用率は、確保病床で約6割、受入可能病床では約9割にも達しており、危機的な状況となっている。
- ・ここ数日間を見ると、市内の新規感染者数は落ち着いてきているようにも見えるが、まだまだ予断を許さない状況にあるものと認識している。
- ・市民の皆様、事業者の皆様には、現状に対する強い危機感を共有していただき、今一度、基本的な感染対策の徹底をお願いするとともに、ワクチンの接種についても、3回目・4回目の早期の接種について御検討いただきたい。
- ・本市としても、感染の更なる拡大を何としても食い止めるべく、今回の県の宣言を踏まえながら、最大限の努力をしていかなければならない。
- ・そのためには、「検査キット配送・陽性者登録センター」を安定的に運営し、発熱外来の負担軽減につなげるとともに、ひっ迫する保健所業務を、全庁で、しっかりと支えていくことが必要だ。
- ・今後とも、関係機関と連携を密にしながら、全職員が一丸となり、感染拡大防止に向け、全力で取り組んでいく。

以上